

第15回 運転管理検討会 議事録

1. 開催日時：平成19年2月27日(火) 14:30～17:00
2. 開催場所：日本電気協会 C会議室
3. 参加者 (順不同, 敬称略)
 - 委員：濱名(東京電力), 坂元(関西電力), 尾形(北海道電力), 名原(中国電力), 佐野(日本原電), 浦野(日本原子力技術協会), 鎌田(四国電力), 布谷(北陸電力), 田中(東京電力) (計9名)
 - 代理出席者：佐久間(東北電力・飯塚), 水口(九州電力・藤井)川島(電源開発・市川), 松井(中部電力・井川) (計4名)
 - オブザーバ：後藤(原子力安全・保安院) (計1名)
 - 事務局：長谷川, 大東(日本電気協会) (計2名)
4. 配付資料
 - 資料 15-1 運転管理検討会委員名簿
 - 資料 15-2 第14回運転管理検討会 議事録(案)
 - 資料 15-3 原子力規格委員会 運転・保守分科会 平成19年度活動計画(案)
 - 資料 15-4 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程(案)
 - 資料 15-5 「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」へのコメントについての検討結果(案)
 - 資料 15-6 「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程(JEAC4804-200X)」策定における検討事項について(案)
 - 参考資料1 第23回原子力規格委員会議事録(案)
5. 議事
 - (1) 会議定足数の確認について
委員総数13名に対して本日の出席委員数は, 代理委員も含めて13名で検討会決議に必要な委員総数の2/3以上の出席が確認された。
 - (2) 代理参加者及びオブザーバ参加者の承認について
上記, 代理出席者4名およびオブザーバ1名の会議参加並びにオブザーバからの意見陳述について, 検討会主査から承認された。
 - (3) 前回議事録(案)の承認
事務局より, 資料15-2に基づき, 前回の検討会議事録(案)が紹介され, 承認された。
 - (4) 運転・保守分科会 H19年度活動計画(案)の検討
田中委員より, 資料15-3に基づき, H19年度活動計画(案)の説明があり, 審議の結果, 了承された。
 - (5) 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程 制定案および運転責任者の判定に係る

規程（案）に対する意見への対応案検討

田中委員より、資料 15-6 に基づき、「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程 (JEAC4804-200X)」策定における検討事項について説明があった。本資料は、規程案を運転・保守分科会へ諮る際の補足資料となるため、規程案、コメントへの回答と併せて議論を行なった。今後、本日の議論を受けた規程案の修正を速やかにを行い、次回の運転・保守分科会への上程の可否は、濱名主査の判断に委ねることが了承された。大幅な内容変更が必要な場合には、再度検討会にて議論することとなった。

主なコメントは、以下のとおり。

- 1) 判定機関のところ、JIS Q17024「適合性評価 - 要員の認証を実施する機関に対する一般要求事項」は、品質マネジメントではないということか。

JIS Q17024 は、要員認証の規格であり、品質マネジメントシステムの規格ではない。

- 2) JIS Q17024 に準拠するということを規格本文に記載するべきではないか。

当該規格の必要部分を参考にすれば十分な制度と考えており、解説 6.1-3 にその趣旨の記載はあるが、規格本文 6.1 判定機関の要件に推奨事項として記載する方向で検討する。

- 3) 判定機関を第三者的に監査する組織の設置は必要ではないか。

原技協は、判定業務組織の中に外部の有識者等で構成する「認証運営委員会（仮称）」の設置を計画している。この委員会の審議事項に「判定の仕組みや具体的な方法等の開発、維持」があり、判定のプロセスを客観的に評価できる仕組みは確立される。

事業者や訓練センターなどが含まれずに、学識経験者や国などだけで構成される外部組織を作るとすると、実効性を伴わないものとなる。

(6) その他

- 1) 今後のスケジュール

3月16日（金） 第11回運転・保守分科会

4月17日（火） 第24回原子力規格委員会

- 2) 次回運転管理検討会は、別途日程調整を行うこととした。

以上